茨城県景気ウォッチャー調査
（平成17年6月調査分）

調査の目的

・経済の第一線で働いている人々から，景気に関する生の情報を得る。
・その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに，迅速に公表する。
・県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となる。

調査の概要

・調査客体数…県内各地域（県北，県央，鹿行，県南，県西）ごとに60名，計300名です。
・調 査 内 容…景気の現状，先行き判断とその判断理由。
・調 査 時 期…四半期（６，９，12，３月）ごとに実施し，翌月公表。

結果の概要（回答率95.3%）

県全体の状況

景気現状判断DI		景気先行き判断DI	
県全体	**47.7**（＋0.8）	県全体	**48.7**（－1.4）
県北地域	**45.2**（＋2.4）	県北地域	**46.1**（＋0.3）
県央地域	**47.8**（＋0.5）	県央地域	**52.7**（＋2.2）
鹿行地域	**52.1**（＋6.6）	鹿行地域	**50.4**（－4.5）
県南地域	**45.7**（－4.7）	県南地域	**46.1**（－6.1）
県西地域	**47.8**（－0.8）	県西地域	**48.2**（＋0.9）

※（　）は前回調査（平成17年３月）との比較をしたものです。

※DI（Diffusion　Index）
景気動向を判断するために使用される指標の一つであり，景気の方向性（景気が上向きか下向きか）をみるもので，**50が横這いを表しています**。茨城県景気ウォッチャー調査では，回答を区分ごとに点数であらわし，その点数を回答構成比（%）で乗じてDIを算出しています。

● ３か月前と比較した景気の現状判断DIは，「やや良くなっている」の回答構成比が増加し，「やや悪くなっている」の回答構成比が減少したため，0.8ポイント減の**47.7**となったものの，**前回調査に引き続き横這いを表す50を下回りました**。
これは，飲食関連及び住宅関連で「（やや）良くなっている」との回答が多かったためです。また，サービス関連では，春先の天候に恵まれたこともあり，観光ホテル等で順調に客足が伸びたようです。しかし一方で小売関連については，依然として消費者の買い控えの傾向が続いているという声が多く聞かれました。

● ３か月先の景気の先行き判断DIは，「悪くなっている」の回答構成比が増加したため，1.4ポイント減の**48.7**となり，**横這いを表す50を下回りました**。
これは，雇用関連DIが50を上回り，家計動向関連DIも49.6とほぼ横這いまで回復したにもかかわらず企業動向関連DIが44.8と低迷したためです。夏のレジャーシーズンを迎えることや，つくばエクスプレスの開業に期待する声が多く聞かれる一方で，原材料価格の高騰や，同業者との価格競争の激化を懸念する声が依然として多く聞かれました。

地域別の動向

１　県北地域

⑴　現状判断

３か月前と比較した景気の現状判断DIは**45.2**であり，３月調査分と比べて2.4ポイント上回りました。また，**DI値は全県を通じて最も低くなりました**。業種別にみてみると，家計動向関連DI及び雇用関連DIが３月調査分を上回りましたが，企業動向関連DIが３月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・高校生の求人が多く，就職率が良い。また，技術・技能向上を図るセミナーに社員を参加させる企業が増加している。（学校就業関係者）
・新年度に入っても，景気が回復する材料がないように思う。（製造業［電気機械器具］）

⑵　先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは**46.1**であり，3月調査分と比べて0.3ポイント上回りました。また，県南地域と並んで**DI値は全県を通じて最も低くなりました。**業種別にみてみると，家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回りましたが，企業動向関連DIが3月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・夏休み期間中の仮予約や問い合わせが多数入っており，客数の大幅増を見込んでいる。（観光型ホテル）
・メーカーの値下げ要請が続く中，鉄鋼に加え，銅，樹脂等の値下げも重なり，収益悪化の傾向が強まると思われる。（製造業［輸送用機械器具］）

2　県央地域

⑴　現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは**47.8**であり，3月調査分と比べて0.5ポイント上回りました。業種別にみてみると，家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回りましたが，企業動向関連DIが3月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・水戸近郊に大型店舗の出店が相次いだことにより，新たに人と金が回り始めた。（求人広告）
・消費者動向は低調で，商品がほとんど動かない。（製造業［食品］）

⑵　先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは**52.7**であり，3月調査分と比べて2.2ポイント上回りました。また，**DI値は全県を通じて最も高くなりました。**業種別にみてみると，家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回りましたが，企業動向関連DIが3月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・夏のボーナスによって，客の購買意欲が高まることを期待したい。（住宅販売会社）
・受注単価の下落が継続しているうえ，時期的に受注量が少ない。（製造業［出版・印刷業］）

3　鹿行地域

⑴　現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは**52.1**であり，3月調査分と比べて6.6ポイント上回りました。また，**全県を通じて唯一横這いを表す50を上回りました。**業種別にみてみると，家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回りましたが，企業動向関連DIが3月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・イベントや催事の開催が多かったため，弁当発注や特別注文をする客が増加した。（スーパー）
・新規貨物が獲得できず，既存荷主の新展開も困難な状況である。ドライバーの情報でも，仕事が少なく暇だという。（非製造業［輸送業］）

⑵　先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは**50.4**であり，3月調査分と比べて4.5ポイント下回りました。業種別にみてみると，雇用関連DIが横這い，家計動向関連DI及び企業動向関連DIが3月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・米，果物の売行きが好調なので，このまま夏まで推移すると予想される。（ドライブイン）
・原油価格は先行きが見えず，利益面の予測が難しい。（製造業［化学工業］）

4　県南地域

⑴　現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは**45.7**であり，3月調査分と比べて4.7ポイント下回りました。業種別にみてみると，家計動向関連，企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・愛知万博等，昨年に比べ売上げが伸びる要因はあったが，実績が伴っていない。（旅行代理店）
・大きな仕事の受注がなく，細かい仕事ばかりで採算が合わない。（非製造業［建設業］）

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは**46.1**であり，3月調査分と比べて6.1ポイント下回りました。また，県北地域と並んで**DI値は全県を通じて最も低くなりました**。業種別にみてみると，家計動向関連，企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・冷夏が予想されるため，水物類の売上げが前年比で減少すると思われる。（スーパー）
・顧客からの値引き要求を受けざるを得ず，収益率が更に落ちることが予想される。（人材派遣業）

5 県西地域

(1) 現状判断

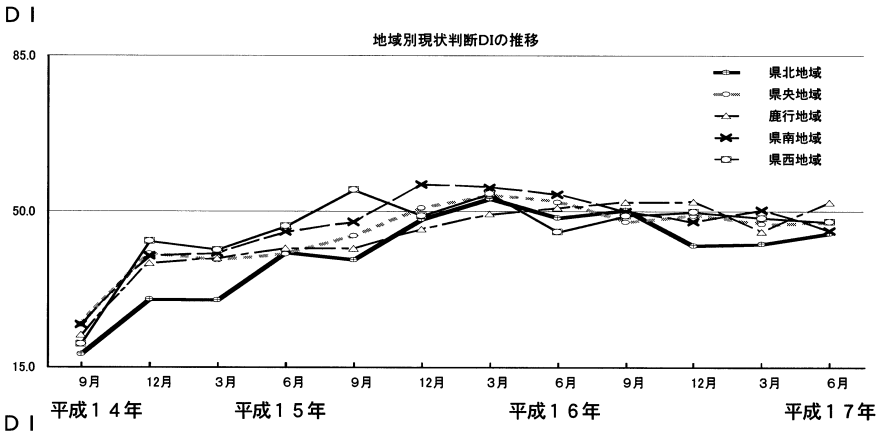
3か月前と比較した景気の現状判断DIは**47.8**であり，3月調査分と比べて0.8ポイント下回りました。業種別にみてみると，家計動向関連DIが3月調査分を上回りましたが，企業動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を下回りました。

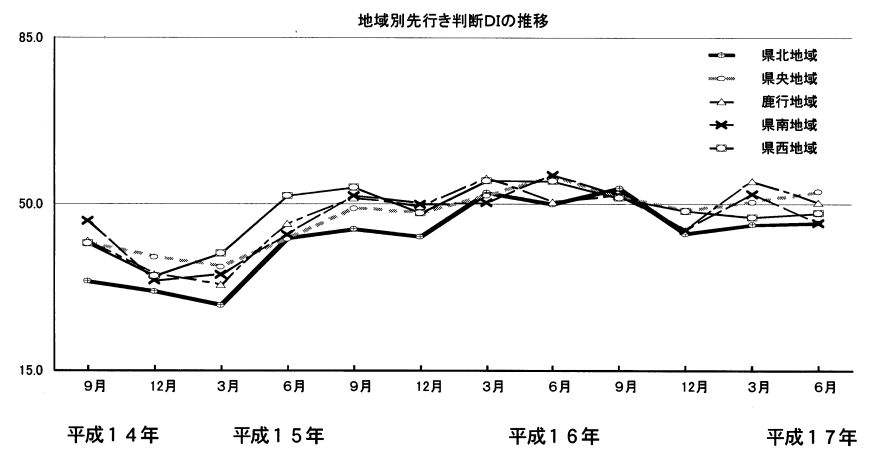
特徴的な判断理由（抜粋）
・年度切替時期は歓送迎会等で団体客が多かった。6月に入り，ボーナス支給等で余裕の出てきた個人客の消費が増加している。（寿司店）
・原材料の高騰が続いているため，製造コストが上昇する一方である。（製造業［食品］）

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは**48.2**であり，3月調査分と比べて0.9ポイント上回りました。業種別にみてみると，家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回りましたが，企業動向関連DIが3月調査分を下回りました。

特徴的な判断理由（抜粋）
・ボーナス，中元シーズンに向けて，商店街が活気付いてきたように思う。（タクシー運転手）
・生産性の向上を伴わない単価の下落が，当面の間継続すると思われる。（製造業［印刷業］）





※ 平成14年9月は試行調査である